

都市再生整備計画（岡本駅周辺地区）事後評価の概要

（１）計画概要

【地区名】岡本駅周辺地区
 【面積】158ヘクタール
 【交付期間】平成21年度～平成25年度
 【交付対象事業費】約48億2千万円（国費率40.0%）
 【区域】下岡本町・中岡本町・東岡本町の一部

（２）まちづくりの目標

【大目標】

災害のない安心安全な住環境のまちづくり

【小目標】

- ・総合的な面整備をすることで、計画的・効率的な土地利用を推進すると共に、良好な住環境の形成及び駅への交通結節機能の強化を図り、新規転入者の増加を図る。
- ・道路を整備することで、人々が日常的に利用する生活道路の安全性及び利便性を向上させ、暮らしやすい住環境を確保する。
- ・水害のない安心安全なまちづくりをする。

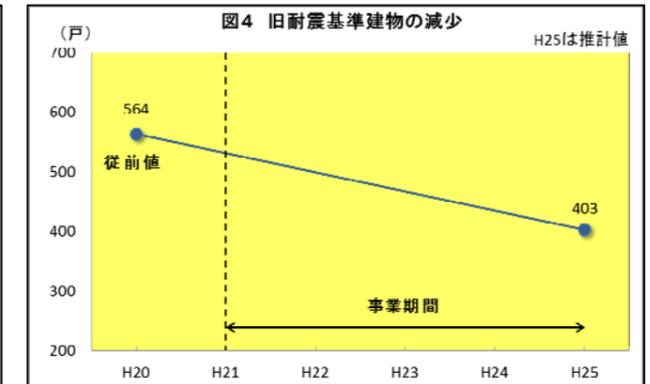
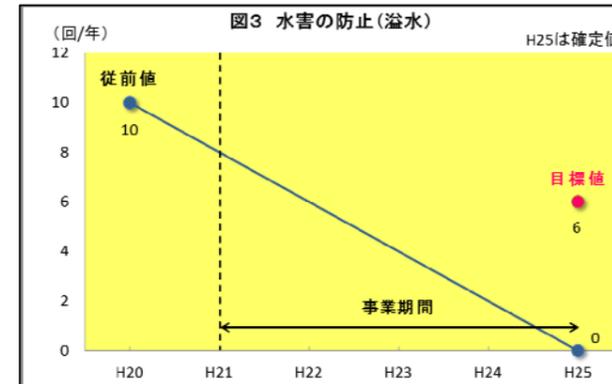
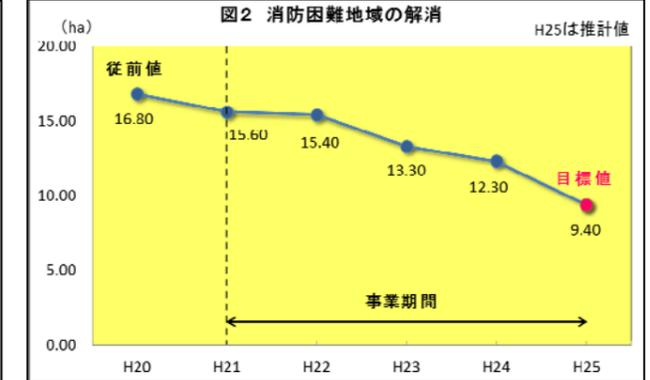
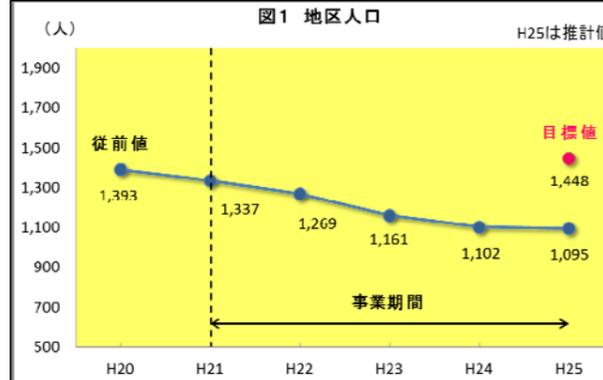
（３）目標の達成状況

指標	単位	従前値	目標値	事後評価	備考
①地区人口	人	1,393 (H20)	1,448 (H25)	1,095 (H25)	大型社宅の閉鎖などに加え、土地区画整理事業の進捗により、アパート・貸家等の解体などで一時的な地区外転居が発生し人口が減少した。
②消防困難地域の解消	ha	16.80 (H20)	9.40 (H25)	9.40 (H25)	土地区画整理事業の進捗により、駅前道路等の主要道路を中心に道路整備が進んだことで、消防困難地域が解消された。
③水害の防止（溢水）	回／年	10 (H20)	6 (H25)	0 (H25)	土地区画整理事業の進捗により、暫定の調整池が整備され、排水状況が改善し、溢水被害の抑制が図られた。
④旧耐震基準建物の減少	戸	564 (H20)	—	403 (H25)	土地区画整理事業の中で、建物の再築が行なわれ、災害に強いまちづくりが構築されている。
その他	土地区画整理事業により、車や歩行者が安全に通行できるなど、安心安全なまちづくりが形成されている。				

注）④は、当初設定した数値目標以外の指標（参考値）

（４）実施課程の評価

【モニタリング】実施なし
 【住民参加プロセス】実施なし
 【持続的なまちづくり体制の構築】実施なし



（５）まちの課題の変化

- 土地区画整理事業の進捗により、アパート・貸家等の解体などで一時的な地区外転居が発生し人口が減少しているが、街区工事の進捗率が上がり、良好な住環境の整備が進められている。
- 土地区画整理事業により、狭隘道路や行き止まり道路の解消が進み、暮らしやすい道路整備が推進されている。
- 土地区画整理事業の進捗により、暫定の調整池が整備され、排水状況が改善し、溢水被害の抑制が図られている。
- 公園が未整備であるため、防災空間及び憩いの場としての機能確保が求められている。
- 土地区画整理事業により、公共施設へのJR岡本駅からのアクセス道路及び公共施設周辺道路が整備され、安心安全な道路整備が推進されている。
- 地域交流拠点に相応しい駅関連施設の整備が求められている。

（６）今後のまちづくり方策

まちの課題	まちづくり方策
岡本駅西土地区画整理事業の早期完了	引き続き土地区画整理事業を推進することにより、地域の利便性や防災性を向上し、安心・安全な住環境を形成する。
消防困難地域の解消	土地区画整理事業により、狭隘道路等の解消を進めることで、消防困難地域を解消するとともに、歩行者や車が安全に通行できる道路を整備する。
公園の整備	公園の整備を行い、防災空間及び憩いの場を設けることにより、地域にとって安全かつ快適性に優れたまちづくりを進める。
公共施設へのJR岡本駅からのアクセス道路及び周辺道路の整備	土地区画整理事業により、公共施設へのJR岡本駅からのアクセス道路及び公共施設周辺道路を整備することで安全性及び利便性を備えた歩行者ネットワークを形成する。
駅関連施設の整備	JR岡本駅橋上駅舎、東西自由通路、東口・西口駅前広場などの駅関連施設整備により、交通結節機能の強化を図り、駅東西の連携を確保し周辺施設へのアクセス性を向上する。